

GREEN

全農長野県本部情報 グリーンリーダー

Rader

2026

9

Vol.568



重点事業方針
A-Policy

生産販売部 販売流通企画課の取り組み
生産販売部 米穀課の取り組み
くらし支援部 SS協同経営課の取り組み

A-Reports

- | | | | |
|----------------------------------|---|--------------|----|
| ・「2026なんしんフラワーフェア」を開催 | 4 | ・経友会情報 | 10 |
| ・「JA農機&資材フェスタ2026」を開催 | 5 | ・JA全農長野の事業現況 | 10 |
| ・カナダの有力バイヤー2社を招へい 商談会とレセプションを初開催 | 6 | ・9月のラジオ番組表 | 10 |
| ・東京都豊洲・大田両市場でトップセールスを開催 | 7 | ・編集後記 | 10 |
| ・松本山雅FCホームゲームでスイカPRイベント | 8 | | |
| ・「第77回信州肉牛松本即売会」を開催 | 9 | | |
| ・「第47回信州和牛(長野県産)枝肉共励会」を開催 | 9 | | |



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

販売流通企画課

生産販売部 販売流通企画課の取り組み

J A全農長野販売流通企画課は、系統共販体制の強化および系統事業の利用促進のため、青果物・花き販売事業における「DX」「物流改善」「総合品目の宣伝事業」に取り組めます。

DXについては、「青果物販売管理システム」の構築と、J Aへの利用推進に取り組めます。関係機関が販売業務に関わる一連のデータを連携することで一体化したシステム構築を図り、事務効率化、省資源化、並びに販売力強化をすすめます。

物流改善については、輸送事情が厳しくなる中、継続的な輸送体制の確保に向け、引き続きJ Aと連携して対策に取り組めます。

総合品目の宣伝事業については、本県産農産物の魅力を発信し、本県産品への応援・支援の意識や購入機会および認知度を高める事業を展開します。

令和8年度重点目標の達成に向けた当該の重点方針は次のとおりです。

1. 生産販売業務のDXを推進します。

(1) 「青果物販売管理システム」は二次開発によって新たな機能加わり、予約集計・出荷報告・荷受・分荷・出荷通知書発行・輸送情報提供まで一貫した運用が可能となります。今後、事業所と連携した推進により利用J A・品目を増やし、利用を促進します。

(2) 県域分荷および予約集計システムの機能向上により、卸売会社への情報発信を強化しDXを進めます。

(3) システム構築を進めると共に、



システム説明会の様子

J Aとも連携しながら、業務のDX、データ活用による販売業務作業の効率化に向けた意識改革・業務改善に取り組めます。

2. 物流改善および集荷所・共選所運用対策に取り組めます。

(1) 輸送効率化にはパレット輸送が不可欠です。レンタルパレット運用・パレット適合容器の検討・対応を進め、パレット輸送率の向上に取り組めます。

(2) 物流に関する課題は関係法令の改正も踏まえ、対応が求められています。積み込み・荷下ろし時の2時間ルールの遵守などの課題解決に向け、荷主・着荷主を含めた関係者と共に作業効率化の取り組みを進めます。

(3) 日常業務等の見直しによる分



リンゴ専用パレット

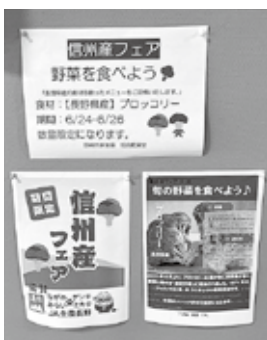
荷作業の時間短縮、事前積み付けなどによる効率的な出荷対応を進めます。

3. 農産物に関わる総合的消費宣伝・商品開発・付加価値販売に取り組めます。

(1) 「J A全農長野」「三ツ山マーク」「信州力(しんしゅりき)」の商標を活用し、本県系統組織のイメージ向上と、産地内の系統結集を高める事業を展開します。

(2) 系統生産販売事業の持続的発展に向け、食育や花育事業に取り組めます。

(3) 県産青果物の消費拡大・系統集荷に寄与し、価値を高めた商品開発に取り組めます。



信州大学生協食堂での食育活動

信州大学で提供したブロッコリーメニュー



米穀課

生産販売部 米穀課の取り組み
～令和8年度米穀課事業推進方針～

J A全農長野米穀課は、長野県産米穀の生産・販売強化のため、共同計算および系統集荷・販売体制の強化、品質向上対策、生産基盤安定化への対応などに取り組みます。令和8年度の当課の重点取り組み事項は次の通りです。

1. 令和8年度米生産・集荷推進

- (1) 販売および共同計算における区分集荷等による多様な手法の継続や、未利用・低利用生産者への推進強化等による、J Aと一体となった集荷数量の積み上げ推進
- (2) 営農継続可能な生産者手取り水準の確保
- (3) 関係機関と連携した需要に応じた品目への生産誘導

2. 令和8年度米販売推進

- (1) 長野米販売計画に基づく生産誘導と実需者の見える取り引きの強化（長野米需要量…69,000トン）
- (2) 事前契約の積み上げと複数年契約の拡大（複数年契約目標…

37,000トン）

3. 長野米生産・品質向上・安全安心への取り組み

- (1) 業務用適性米の生産に向けた多収栽培試験の実施、販売先と連携した検証
- (2) HACCP施行に対応した米穀集荷保管施設の衛生管理向上の取り組み推進
- (3) 農産物検査室による品質分析と生産販売への有効活用、スマートオコメチェーンの研究

4. 生産基盤安定化への対応

- (1) 県本部米穀事業基盤強化奨励の有効活用（集荷・基盤強化・人材育成・施設衛生向上・種子場支援）
- (2) 長野県主要農作物種子生産ビジョンに基づく種子場再編計画に沿った取り組み推進
- (3) 米穀施設のJ A間共同利用の推進
- (4) 残留農薬・DNA・DONの適正な自主検査とコムギ赤かび病対策
- (5) 関係機関と連携した高温対策（高温耐性品種導入等）の強化と環境負荷低減米穀への対応

6. 麦・大豆・そば

- (1) 小麦／実需者の需要に応じた生産と安定した品質および反収の確保
- (2) 大麦／需給に応じた生産と適期収穫の励行
- (3) 大豆／「ナカセンナリ」を主体とした集荷数量確保、需要に応じた品種構成の検討
- (4) そば／県内安定取引先への推進、収穫前を含む早期の契約締結



春のお米キャンペーン実施内容



東京都協の田植え体験



長野県スポーツ協会への長野米寄贈式



パルシステム東京との交流会（J A米保管施設見学）

SS協同経営課

くらし支援部 SS協同経営課の取り組み

（株）長野県A・コープとの事業連携および各種施策

J A全農長野SS協同経営課では、令和8年度燃料油供給数量の確保とカーメンテナンス商品の供給維持拡大に向けて「（株）長野県A・コープとの事業連携」「いつでもいいものカーメンテ」施策の実施、「顧客固定化ツール」の推進に取り組んでいます。

「（株）長野県A・コープとの事業連携」

（株）長野県A・コープとの事業連携は、JAらしい企画としてA・コープの会員様を対象とした「A・コープとSSとの相互キャンペーン」を毎年実施しています。今年度は第1弾を令和8年7月に実施し、

JA組合員・地域の皆様へ
くらし支援キャンペーン
A・コープ7000店 ENEOS JAガソリンスタンド
0000SS
有効期間 2026年 7月 3日（金） 4日（土） 5日（日） 6日（月）
期間中、上記A・コープ店にて
1,000円以上の買い物をされた方に
「ガソリン・軽油10円値引き券」7枚プレゼント!!
※値引き券の有効期限は 2026年7月31日（金）までとなります。
※値引き券はレシートと共に発券されます。忘れずにお持ちください。
※値引き券は上記ガソリンスタンドでのみご利用いただけます。
また、他のクーポン券との併用はできません。
※お支払いが次のカードの場合、値引き券は利用できません。（J A全農 発行のカード）
期間中、上記ガソリンスタンドにて
A・コープ友の会50ポイント券7枚プレゼント!!
※ポイント券の有効期限は 2026年7月31日（金）までとなります。
※ポイント券は期間中、A・コープ7000店で毎日1,000円以上（税別）
お買い上げいただいた全員の会員様へ、1名あたり1枚ずつお配りいたします。

7月に実施したキャンペーンの内容

第2弾を令和9年1月に予定しています。第1弾はA・コープ17店舗と6JA29SS（内、協同経営27SS）で実施しました。期間中、対象のSSでガソリン・軽油を3,000円以上給油のお客様にA・コープ友の会50ポイント券を進呈し、また、対象のA・コープ店では3,000円以上のお買い物でガソリン・軽油10円/ℓ引き券を進呈しました。SSでの50ポイント券発行数は10,161枚となり、多くのお客様にご来店いただくことができました。今回から4月にオープンしたファーマーズ北長野店と若槻SS・エントランス裾花SSがキャンペーン対象となり、さらに地域に密着した企画となっております。

第2弾の詳細については随時お知らせしますので、各A・コープ、SS店頭でご確認ください。

「いつでもいいものカーメンテ」施策の実施

「いつでもいいものカーメンテ」（通称「いつメン」）

は、ENEOSTレーディング（株）の企画です。県下139SS（内、協同経営33SS）がエントリーし、各SSがシーズンに合わせてバッテリーやタイヤといった対象のカーメンテナンス商品を販売し、その実績によって上位SSは表彰されます。各SSでは商品に合わせた販促企画を考え、商品研修を行うことで、お客様の安心快適なカーライフを応援しています。



「いつメン」で対象のカーメンテ商品例

「顧客固定化ツール」の推進

「LINE」「ENEKey」「ENEOSアプリ」「マイカー登録」の加入・登録を重点推進しています。協同経営33SSでは年間目標を設定し目標達成に向けて、イベントでの集中的な案内や、日々の声掛けを行っています。各ツールの推進目標・特徴は次のとおりです。

○LINE（目標3,500件）

各SSのイベント情報配信があります。

○EneKey（目標3,900件）

キャッシュレス決済可能なツールです。

○ENEOSアプリ（目標5,000件）

アプリにクレジットカード情報を登録することで、スマホで二次元バーコードを表示すればスピーディーにお支払いが可能です。また「いつもの給油」設定をすることで給油前の操作が最小限に。「ポイントカード（楽天・dポイント・Vポイント）いずれかひとつ」の連携をすると給油でポイントも貯まります。

○マイカー登録（目標5,002件）

車検証からENEOSアプリにマイカー登録することで愛車の車検満了日やタイヤサイズ等のデータが確認できます。カーメンテナンスの履歴を登録することもできるので、実施時期等の目安も一目瞭然です。

協同経営SSは引き続き組合員・お客様に愛されるJA-SSを目指してまいります。

皆様のご利用をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

(南信生産販売課)

2026なんしんフラワーフェア盛大に開催!! 関東農政局長賞に小池潤さん（JA信州諏訪）のアルストロメリア

なんしんフラワーフェア推進協議会（構成団体：JA上伊那、JAみなみ信州、JA信州諏訪、JA全農長野南信事業所・中信事業所）は7月23日(木)と24日(金)の2日間、「2026なんしんフラワーフェア」をJAみなみ信州本所のみなみちゃんホールで開催しました。

今年で39回目の開催となり、長野県が生産量全国1位を誇るアルストロメリア、カーネーション、ダリア、トルコギキョウをはじめ、キク類やスターチス、季節商材のほおずきなど、南信地域3JA管内の生産者が丹精込めて栽培した花き324点が出品され、品質や栽培技術を競いました。

特に本年は直近10年で最も多い出品点数であり、会場を華やかに彩りました。



300点を超える花に彩られ、来場者で賑わう会場



審査は14名の審査員によって行われ、花型や茎葉、草姿に加え、市場性についても審査されました。その結果、最高賞の関東農政局長賞には、小池潤さん（JA信州諏訪）のアルストロメリア「シュガー」が選ばれました。

また、花きの消費拡大と産地PRを目的に、JAみなみ信州の婦人部の皆様を対象としたフラワーアレンジメント教室を開催しました。参加者は南信地域で栽培されている花きについて学ぶとともに、3JAの花を使用したアレンジメントの制作を楽しみました。

同フェアは飯田地域と諏訪地域で毎年交互に開催しています。次回は令和9年9月に富士見町で開催を予定しています。今後もなんしんフラワーフェア推進協議会では花きの生産振興と消費宣伝に取り組んでまいります。



審査風景



関東農政局長賞に選ばれた、小池潤さんのアルストロメリア「シュガー」



フラワーアレンジメント教室の様子

農業機械課

～次世代農業機械を見て・触れて・体験する2日間～ 「JA農機＆資材フェスタ2026」 盛況

長野県農協生産資材事業推進協議会は7月17日(金)と18日(土)の両日、長野市のエムウェーブで26回目となる「JA農機＆資材フェスタ2026」を開催しました。

出展は、農業機械35社、肥料2社、農薬11社、農業資材5社、くらし支援関連3社、計56社に加え、後援である県による農作業

安全コーナーの他、JA全農長野の生産振興部やJAファーム店、JAバンク、JA共済、JA農産物直売等の協力もいただき、JAグループ挙げての催しとなりました(=表紙下)。



協議会小林副会長の開会あいさつ



多くの来場者であふれる会場

■スマート農業の提案

特設コーナーでは、革新的な種子処理技術「リゾケア」を利用した新しい直播技術、最先端の栽培管理支援システム「ザルピオ」「Z-GIS」について紹介し、技術に対応した直播仕様田植機も展示し、多くの来場者が訪れ関心の高さが伺われました。

■ミニ講習会コーナー

ミニ講習会コーナーでは、スマート農業機械や肥料・農薬の紹介と使用方法、熱中症対策まで、聞いて役立つ様々な講習を2日間で22回開催し400人以上が参加しました。講習は注目度が高く、終了後に多くの質問をいただきました。

■実演コーナー



ラジコン草刈機実演会

外会場では「ラジコン草刈機」等の「省力化機械」の実演会を行い、110名ほどの方に体感いただきました。農作業の中でも負担の大きい草刈作業や運搬作業は、労力軽減に向けた要望が強く、特に近年ラインナップに広がりを見せる「ラジコン草刈機」は注目を集め、多くの意見や質問をいただきました。

会場内の「電動機械」実演コーナーでは、自動追従運搬車や電動乗用芝刈機等の動作を体感いただき、手軽に取り扱うことができる「電動農機」をPRすることができました。

■農業情報コーナー

特設コーナーでは、共同購入コンバイン「YH448」や県域推奨型式を展示PRし、商談を進めました。

農業機械コーナーでは、担い手向け高機能製品、ドローンなどのスマート農業機械関連などが一堂に展示され、多くの来場者で賑わいました。

肥料コーナーでは、土壌診断による適正施肥の取り組み、農薬コーナーでは担い手農家を対象に価格メリットのある担い手直送規格紹介など各出展者が工夫を凝らしてPRし、ニーズに沿った提案を行いました。



共同購入コンバインの展示

■中古農業機械コーナー

県下JAより合計50台が出品されました。人気機種であるトラクタについては、公平性を担保する為、入札方式を導入するなど（その他機種は成約順）、2日間で合計27台が成約となり、活況を呈しました。

■JAグループ関連コーナー

生産振興コーナーでは、排水対策等を紹介し、多くの生産者が興味を示しました。農産物直売コーナーでは、JA松本ハイランド産すいかの試食販売を行い「甘くておいしい」といった声をいただきながら550玉の売り上げとなり終日賑わいました。



生産振興コーナー



農産物直売コーナーでのすいかの試食販売

この他、粗品進呈のスタンプラリー、キッチンカーでの充実グルメ、キッズクラフトコーナーでのグッズ作成やトイドローン体験など、家族連れで楽しめるイベントとなりました。

2日間の受付来場者4,662名（目標5,000人）、成約金額約19.62億円（目標16億円）と成約目標を達成し、成功裏に終わりました。

（果実花き課・畜産酪農課）

カナダの有力バイヤー2社を招へい 商談会とレセプションを初開催

JA全農長野は7月15日(水)と16日(木)の両日、カナダの有力バイヤーを招き長野市内で開催された商談会に参加し、県産農畜産物売り込みました。

この商談会は、輸出の有望市場であるカナダでの県産品の販路拡大を目的に長野県が初めて開催したもので、県内事業者との個別商談のほか、歓迎レセプションや企業視察商談が行われました。

商談会で全農長野は「信州プレミアム牛肉」と「ぶどう三姉妹[®]」を紹介しました。畜産酪農課の担当者はバイヤーの目の前でステーキを焼きながら、信州プレミアム牛肉の特徴や優れた食味について説明しました。また、果実花き課の担当者は「ぶどう三姉妹[®]（ナガノパープル、シャインマスカット、クイーンルージュ[®]）」それぞれの品種の美味しさや特長、生産の取り組み内容などを紹介し、県産果実をアピールしました。

市内のホテルで行われた歓迎レセプションには、商談会参加者をはじめ、長野県営業本部の田中英児局長など関係者が出席しました。会場では商談会の成功を祈念し（＝表紙上右）、また舞と雅楽の演奏が披露されたほか、招へいたバイヤーによるプレゼンテーションも行われました。料理には県産食材がふんだんに使用され、全農長野が提供した信州プレミアム牛肉がローストビーフとして、「ぶどう三姉妹[®]」の中から、シャインマスカットは大福にして提供されました。アルストロメリアやダリアなども会場を彩りました。

今回の商談会は、海外バイヤーから直接意見や要望を聞くことで、現地ニーズを把握し、今後の輸出拡大につなげる貴重な機会となりました。



信州プレミアム牛肉の商談



ぶどう三姉妹[®]の商談



県産食材を使用した料理



県産花きも会場を彩りました

(東京販売事務所)

東京都豊洲・大田両市場でトップセールスを開催

ＪＡ全農長野東京販売事務所は、ＪＡと連携し、トップセールスを東京都中央卸売市場豊洲、大田両市場で行いました。出荷最盛期を迎える野菜や、果実、きのこを含めて、その魅力をアピールする力強いプロモーションとなりました。

ＪＡ長野八ヶ岳・ＪＡ中野市

ＪＡ長野八ヶ岳とＪＡ中野市は、７月１４日(火)に大田市場の東京青果(株)にて、合同トップセールスを開催しました。この合同セールスは、野菜・きのこ・果実の消費喚起を目的に、品目を代表する産地である両ＪＡがタッグを組み、コロナ前より継続的におこなってきたイベントです。

ＪＡ長野八ヶ岳の津金一成組合長から「きのこくだものを代表するＪＡ中野市と、夏秋野菜を代表するＪＡ長野八ヶ岳が、卸売市場のなかで日本一の実績を誇る東京青果でトップセールスを行えることは大変名誉なこと。ここ大田市場は歴史も長く、買参人の数も非常に多く信用と安心があり期待が大きい。今後も末永くおつきあいいただきたい」と挨拶をいただきました。またＪＡ中野市の望月隆組合長からは「ＪＡ中野市はきのこ果樹の産地。その中でも、今年のぶどうは非常に玉張りがよく糖度も上がり、いいものが多くできているので、できるだけたくさん出荷させてほしい。また、きのこはサラダとの相性もよく、これからのサラダの消費拡大に向けて、ＪＡ長野八ヶ岳とも一緒になって取り組んでいきたい」と述べられました。会場では、レタスときのこの詰め合わせを60名限定で提供し、大変好評でした。

当日の東京は蒸し暑い一日でしたが、会場には多くの市場関係者や買参人にお集まりいただき、夏本番を前にした高原野菜ときのこ・果実のPRにつながるいいセールスとなりました。



トップセールスに臨むＪＡ長野八ヶ岳とＪＡ中野市の代表者



好評の詰め合わせ配布

ＪＡ信州うえだ・上田市

ＪＡ信州うえだと上田市による「レタストップセールス」を、豊洲市場の東京シティ青果(株)協力のもと７月２８日(火)に開催しました。

ＪＡ信州うえだは、長野県東部に位置する上田市・東御市（旧東部町地域）・長和町・青木村を管内と



トップセールスに臨む上田市とＪＡ信州うえだの代表者



大盛況のレタス配布

する広域のＪＡであり、高原レタス・白菜をはじめとする野菜やぶどう・りんご・桃などの果実の生産が盛んです。今回はこの管内でもレタスの生産が最も盛んな上田市と合同でトップセールスを開催しました。

上田市の斉藤達也市長、ＪＡ信州うえだの丸山勝也組合長からは、市とＪＡのPRに加え、恵まれた環境で育ち出荷最盛期を迎えているレタスを市場関係者の皆様にしっかりアピールしていただきました。

お二人の挨拶の後には、レタス１玉が市場関係者１６０名に配布され、大盛況のうちに終了となりました。

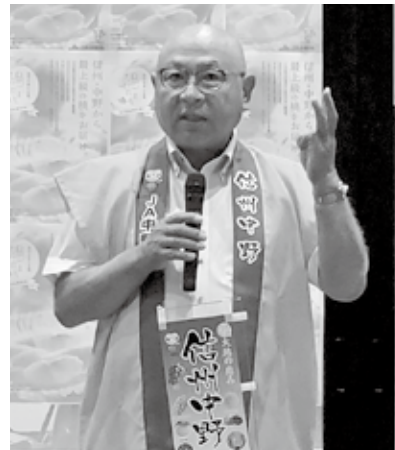
ＪＡグリーン長野・ＪＡ中野市

ＪＡグリーン長野・ＪＡ中野市の本年で３回目となる合同トップセールスが８月４日（火）に豊洲市場において開催されました。会場となった東京シティ青果（株）フレッシュラボ前には、出荷最盛期を迎えている両ＪＡの桃を中心に、ぶどう三姉妹®、プルーン、プラムを展示し、市場関係者の皆様にPRしました。

代表してＪＡグリーン長野の栗林和洋組合長、ＪＡ中野市の望月



挨拶するＪＡグリーン長野の栗林組合長



挨拶するＪＡ中野市の望月組合長

隆組合長に挨拶をいただき、展示されている果実を中心とする両ＪＡの青果物の魅力を市場関係者に向けて力強くアピールしました。特に本年は大きな自然災害に見舞われず、適度な降雨があったため、桃はここ数年の中で最高の出来となっています。

お二人の挨拶の後には、ＪＡグリーン長野から桃「なつっこ」とブナシメジ、ＪＡ中野市から桃「あかつき」とえのきたけが市場関係者２００名に配布され、大盛況のうちに終了となりました。

全農長野東京販売事務所は、引き続きＪＡと連携し、長野県産農産物の積極的なPRに努めてまいります。

総務広報課

旬のスイカを味わって 松本山雅FCホームゲームでスイカPRイベント

ＪＡ全農長野はＪＡ松本ハイランドの協力の下、松本山雅FCの２０２６／２０２７シーズンホーム初戦の８月１６日（日）、スイカの試食イベントを開きました。

３０℃超の蒸し暑さの中、会場を訪れたサポーターは「甘い」「シャリシャリでおいしい」と旬のスイカを味わい、１，０００名分の試食は１時間半で終了しました。

全農長野果実花き課の担当者は「まだまだ残暑が続きます。ＪＡ松本ハイランド産のスイカは９月中旬



試食を受け取るサポーターで賑わう会場



全農長野の名称が入ったユニフォームを着用するサポーター

まで出荷があるので、たくさん食べて残りの夏を乗り切ってもらいたい」と話します。

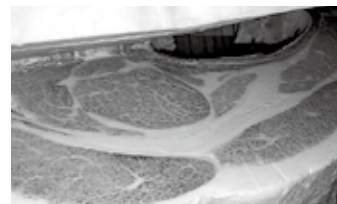
今シーズンより全農長野はユニフォーム（背中）パートナーとなりました。引き続き長野県産農畜産物をとおしてＪ２昇格へ、選手の背中を押してまいります。

畜産酪農課

最優秀賞1席にJAながの・美雪ファーム樋口農場 ～「第77回信州肉牛松本即売会」開催～

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会は7月4日(土)、(株)長野県食肉公社において「第77回信州肉牛松本即売会」を開催しました。県内肉牛肥育生産者が丹精込めて育てた和牛25頭・交雑種28頭が出品され、和牛では4等級以上比率が96% (24頭)、交雑種では3等級以上比率が86% (24頭)と、日頃の飼養管理技術の高さを証明した即売会となりました。和牛は4等級以上の全てが信州プレミアム牛肉に認定されました。

この53頭の肉牛は翌日に開催された長野県農協直販(株)枝肉即売会において、(株)長野県A・コープをはじめ県内外のお取引先を通じて、各店舗や飲食店で販売されました。



最優秀賞の枝肉

第77回信州肉牛松本即売会 入賞者(敬称略)

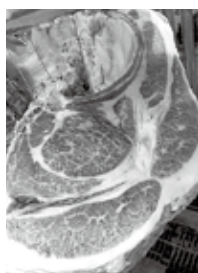
賞	JA名	生産者	種別	性別
最優秀賞1席	ながの	(農)美雪ファーム樋口	和牛	去勢
優秀賞1席	松本ハイランド	小林 和義	和牛	去勢
優秀賞2席	佐久浅間	永井 喜芳	交雑種	去勢
優良賞(順不同)	松本ハイランド	三村 勉	和牛	去勢
〃	信州うえだ	久保田 聖	交雑種	雌
〃	上伊那	農協直販手良農場	交雑種	雌

即売会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	539.7kg	2,616円
和牛雌	484.2kg	2,398円
交雑種去勢	529.3kg	1,752円
交雑種雌	511.3kg	1,770円

畜産酪農課

大阪市食肉市場(株)にて「第47回信州和牛 (長野県産) 枝肉共励会」開催

最優秀賞に入賞した
井坪富士男さんと枝肉

最優秀賞枝肉の断面

JA全農長野畜産酪農課は7月28日(火)、大阪市食肉市場(株)で「第47回信州和牛(長野県産)枝肉共励会」を開催しました。

長野県内各地から選りすぐりの、生まれも育ちも長野県産の信州和牛36頭が上場されました。セリ販売に先立ち行われた枝肉審査で、JAみなみ信州の井坪富士男さんの去勢牛が最優秀賞に選ばれました。この入賞牛はロース芯面積126cm²、霜降り度合いを示すBMSナンバーは最高値のNo12、枝肉重量をはじめ歩留り基準値や品質の高さなど総合的に評価されました。

当日のセリには大阪市食肉市場の購買者が多数来場し、信州産の和牛を求め小売店や専門店の購買者も参加されました。最優秀賞に

選ばれた枝肉は、脂肪の質や肉質などが特に優れており、高い評価を受けました。その品質の高さから需要も高く、多くの購買者の関心を集め、会場で大きな注目を受けました。セリでは枝肉の評価を反映し、3,801円/kgで落札されました。

上場された36頭全頭が信州プレミアム牛肉に認定され、全体5等級比率は97%、またBMSナンバー最高値のNo12は42%と、生まれも育ちも長野県産の信州和牛の品質の高さが認められる結果となりました。

昨年から続く物価高の影響により牛肉の消費低迷が続くなか、和牛肥育農家においては、素牛価格や飼料価格の高止まりなどにより厳しい経営環境が続いております。

今後も畜産酪農課は、このような共励会をとおして「信州和牛」「信州プレミアム牛肉」および「信州アルプス牛」の認知度向上をより一層図るとともに、長野県内を中心に牛肉の消費拡大に向けた販売促進に取り組んでまいります。

入賞者一覧(敬称略)

※表紙上左：最優秀賞の枝肉

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	590.0kg	2,648円
和牛雌	494.8kg	2,492円

賞	JA名	生産者	品種・性別
最優秀賞	みなみ信州	井坪 富士男	黒毛和種・去勢
優秀賞	大北	山口 年春	黒毛和種・去勢
〃	松本ハイランド	竹淵 洋平	黒毛和種・去勢
優良賞	松本ハイランド	小林 和義	黒毛和種・去勢
〃	みなみ信州	(株)夢ファームみなみ信州高森農場	黒毛和種・去勢
優秀素牛生産者賞	みなみ信州	多田 友也	

令和8年度7月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

品目	区分	当年度実績	計画比	前年比
生産振興課		0	－	0
野菜種苗センター		94	93	94
生産振興部計		94	93	94
米	穀	8,820	91	147
果実	花き	6,432	103	117
野菜	きのこ	24,456	107	108
営業		4,243	94	102
生産販売部計		43,951	101	115
農業	資材	4,611	128	124
肥料	農薬	3,227	107	105
農業	機械	2,858	115	111
施設	住宅	1,040	155	96
生産購買部計		11,735	120	112
畜産	酪農	11,670	114	113
三岳	牧場	13	17	14
S P F繁殖センター		100	94	108
八ヶ岳	牧場	104	93	101
畜産酪農部計		11,888	113	112
燃料・ホームエネルギー		8,083	105	102
S S 協同経営		2,374	107	92
くらし		2,412	99	97
くらし支援部計		12,869	104	99
長野県本部計		80,536	106	111

放送日時	放送局	番組名	出演予定
9/8(火) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「いいJ人家庭菜園」	J Aみなみ信州 J Aファームたか ぎ店
9/23(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	米穀課

信州の農産物は実りの季節を迎えています。私の畑では、サツマイモはこの夏の暑さにも負けずに、元気に育つてきました。今年は「紅あずま」と「シルクハイン」を植えてみました。苗植え付け時の5月下旬が相当に暑かったので根付くか心配でしたが、今では物がよつてはツルが長く伸び葉が多く茂り、雑草も圧倒しています。あらためて暑さに強い作物だと実感しており、10月の収穫を今から楽しみにしています。

他に元氣な作物はオクラですが、黒マルチを施したことで保水・保温性の効果があり、しっかりと成長し収穫量も増えました。レモンイエローの美しい花に癒されています。暑いと成長が早くオクラの実が大きくなり過ぎて固くなるので、食べ頃を見極めて早めに収穫をしています。

根菜類はダイコンを育てますが、根が張るので深く耕して9月初めに種をまきます。高温になると発芽した苗が心配ですが、間引後の根を傷つけないように気を付けて管理を行い、11月半ばの収穫を目指していきます。

第56回

入場無料

信州フラワーショー サマーセレクション

長野県内で生産されている切花や花木などを一堂に集めて展示し、品評会を開催し、審査後に一般公開をします。

令和8年**9月3日(木)** 開場 15:00~18:00
9月4日(金) 開場 9:00~13:00

場所:JA長野県ビルアクティーホール
(長野市大字南長野北石堂町1177-3)

内 容

切花や花木類の展示・予約販売※
フラワーアレンジメントや花束の即売
資材等の展示などを予定



※予約販売 展示品は一般公開中に予約販売し、
9/4(金)13:00~14:00に引き渡します。

問合せ先:JA全農長野 果実花き課
(担当:佐藤)
TEL 026-236-2222



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



写真はイメージです。

主催 JA全農長野花き専門委員会・全国農業協同組合連合会長野県本部
後援 長野県、長野市、長野県農業協同組合中央会



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ..... <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」..... <https://www.ja-town.com>

